

野村万作 新狂言の会

六五〇年の歴史を誇る、日本古来の伝統芸能。
芸を追求し続ける人間国宝・野村万作、
多彩な才能を發揮する野村萬斎が、
室町時代から続く最古の喜劇「狂言」の
世界へ誘います。

演目 狂言「文相撲」

狂言「鐘の音」

狂言「六地蔵」

出演 野村万作 野村萬斎 石田幸雄 他

2022. 10/4(火)

開場 18:30 開演 19:00

黒部市国際文化センター

カラーレ (野外能舞台)

一般 5,000円 高校生以下 1,000円

障がい者手帳をお持ちの方 4,000円

チケット一般発売日 7月24日(日)9:00~

- 当日は18時20分に、チケットの「整理番号」順に整列の上、順次ご入場いただきます。チケットはカラーレだけで発売いたします。
- 未就学児の入場はご遠慮願います。
- 雨天が予想される場合は雨合羽等をご用意ください。天候によっては、会場がカーターホールに変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 車椅子の方、補助犬をお連れの方は、座席の相談を承りますので、カラーレまでお問い合わせください。
- この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。

■主催：公益財団法人黒部市国際文化センター ■共催：チューリップテレビ
■後援：黒部市 黒部市教育委員会 北日本新聞社

●お問い合わせ●

カラーレ 〒938-0031 黒部市三日市20番地
TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207
info@colare.jp http://www.colare.jp/

カラーレ
ホームページ

事前に公演ページも
ご確認ください。



ご来場のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症対策に
ご協力をお願いいたします

- 手洗い、消毒液のご利用をお願いいたします。
 - マスク着用にご協力ください。
 - 咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。
- ※感染の拡大防止のため、公演が中止・変更になる場合があります。最新情報はHPをご覧ください。

日本最古の喜劇“狂言”をご堪能ください。

野村万作 新狂言の会

六五〇年の歴史を誇る、日本古来の
伝統芸能。

芸を追求し続ける人間国宝・野村万作、
多彩な才能を発揮する野村萬斎が
室町時代から続く最古の喜劇
「狂言」の世界へ誘います。



野村万作 狂言師

一九三一年生。重要無形文化財各個指定保持者（人間国宝）、文化功労者。日本芸術院会員。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲「釣狐」に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞したほか、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、旭日小綬章、中日文化賞、ジャパン・ソサエティ賞等多数の受賞歴を持つ。近年では、『榎山節考』の再演に取り組み、大きな成果をあげている。『狂言を生きる』（朝日出版社）を刊行。



野村萬斎 狂言師

一九六六年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台「敦・山月記・名人伝」「国盗人」「子午線の祀り」など古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通じ狂言の在り方を問うている。九四年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、二〇二年、観世寿夫記念法政大学能楽賞。松尾芸能賞大賞を受賞。石川県立音楽堂邦楽監督。東京藝術大学客員教授。全国公立文化施設協会会長。



石田幸雄 狂言師

一九四九年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。すでに数多くの優れた舞台歴を持つ野村家の重鎮。大曲の『三番叟』『釣狐』『花子』をすでに初演。国内外で狂言・能公演に多数参加、普及に貢献している。主宰していた「雙ノ会」で芸術祭大賞、個人で観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞。大胆かつ緻密な演技で、古典はもとより「国盗人」など新しい試みの舞台でも存在感を見せる。普及公演での的確な解説にも定評がある。

薪狂言 番組

解説 内藤 連

狂言

文相撲

ふみずもう

新しく家来を召し抱えることにした大名。太郎冠者が連れてきた男は相撲が得意と聞き、同じく相撲好きの大名はその腕前をみようとする。しかし相手がないので、大名自らが取ることになる。最初の勝負で負けてしまった大名は、秘伝の「相撲の書」で対抗策を練るのだが……。
いわばマニュアルを使って勝負に勝とうとする大名ですが、作戦はうまくいくのでしょうか？ 三人三様の人物像に、中世の息吹が感じられる曲です。

大名 野村萬斎

太郎冠者 中村修一
新参の者 飯田 豪

後見 岡 聡史

狂言

鐘の音

かねのね

主人は息子の元服に、黄金作りの太刀を差させてやろうと考え、金の値段を聞きに太郎冠者を鎌倉へ遣わす。ところが、「金の値」を、寺の鐘の音と思い込んだ太郎冠者。寺々を回って帰宅すると、主人の前で鐘の音を説明するのだが……。

寿福寺、円覚寺、極楽寺、建長寺の寺々の鐘の音を擬音で説明したり、主人の怒りを解くため、鐘の音の子細を謡い舞うのが見どころの狂言です。演者自身の声で鐘の音を表現する、狂言独自の趣向をお楽しみください。

太郎冠者 野村万作

主 高野和憲

後見 内藤 連

狂言

六地藏

ろくじぞう

田舎者が地藏堂に六体の地藏を安置しようと都に仏師を探しに行く。すると徒者（いたずらもの）のすっぱ（詐欺師）が声をかけてきて、自分こそが真の仏師であると偽り、翌日までに六地藏をつくる約束をして田舎者と別れる。すっぱは仲間を呼び出し、地藏に化けて田舎者をだますことにする。さて翌日、田舎者が地藏を受け取りにやってくる、地藏は三体系しが見あたらない。もう三体系はどこにと問うと……。

演者が所狭しと舞台を駆け回る賑やかな作品です。すっぱは田舎者をだまし通せるのでしょうか。本舞台と橋掛りを上手く使った、狂言ならではの表現もお楽しみください。

すっぱ 石田幸雄

田舎者 深田博治
すっぱ仲間 岡 聡史

内藤 連
月崎晴夫

後見 中村修一
飯田 豪

ご来場のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします

- 手洗い、消毒液のご利用をお願いいたします。
- マスク着用にご協力ください。
- 咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合には、ご来場をお控えください。
- ※感染の拡大防止のため、公演が中止・変更になる場合があります。最新情報はHPをご覧ください。